

はつらつ

No.101

中央地区八日市場イ

藤井結花さん (23歳)



書道の魅力を広めたい

5歳から通い始めた市内の書道教室で、今はアシスタントとして講師のお手伝いをしています。

書道は自分の書風を見つけていく作業が面白いところ。展覧会で美術作品を見るだけでも影響を受け変化していきます。書道の他にも手紙を書くことが好きです。もらうとうれしいし、手書き文字で人に気持ちを伝えることの楽しさを知ってほしいし、発信していきたいとも思っています。

書道教室では、子どもたちを教えています。先生っぽくなると身構えられてしまうので、身近な距離感を大事にしています。声を掛けたり話を聞いたりしながらやる気や集中力を引き出し、常に褒めることを心掛けています。

将来的には書道塾を開くことが目標。今は書道の魅力を広める活動として、書写の授業や書初め指導を行ったり作品展を開催したりしています。そして、一人でも多くの方が書道を始めようになってくれるとうれしいですね。

私のイッピン No.1

栄地区堀川
伊藤勝夫さん (83歳)



美声を震わせる 自慢ののど

カラオケの会に所属し、30年以上が経ちます。根っからの歌好きで、テレビやラジオでもよく聞いています。昨年、生バンドを背にトップバッターで歌うという貴重な体験をしました。みんなで何かをやるのは楽しいし、年をとっても何かできるのはうれしいですね。5月のカラオケ発表会が楽しみです。

お兄ちゃん大好き!!



両親=豊さん・麻衣さん(野手)
塚本翔蒼くん 2歳

アイドル登場 No.204

※アイドル募集中! お子さんの写真に、氏名、生年月日、両親氏名、住所、電話番号、30字程度のコメントを添えて郵送、持参またはメールでご応募ください。

みんなみて!みて!! アートギャラリー



仲良しのお兄ちゃんと一緒にチューリップ畑で遊んでいるの。絵も上手に描けたし、折り紙もきれいに折れたでしょ。

栄保育園
熱田曲星ちゃん



ハトの羽模様がかきれいだと思って版画の題材にしました。力加減が難しかったですが、イメージ通りうまくできました。

豊栄小 6年
仙田佳誠さん



同じ形を連ねて一つの大きな形を表すフラクタル図形。何パターンも組み合わせを考え多くの色を使うよう工夫しました。

八日市場一
増田莉中
於さん 3年



クラブ・サークル紹介

私たちFCストームは、豊栄小を中心に近隣の小学校の子どもたちで構成されたサッカーチームです。

指導方針は「あいさつや礼儀を正しく」。サッカーの技術だけではなく、仲間を大切にすることや協調性を学んでほしいと思っています。目指すのはどこにも負けない団結力あるチーム。まだ試合では、なかなか勝つことができませんが、この「団結力」を磨いていき、大会などの優勝を目指します。

メンバーは随時募集しています。サッカーが苦手だった子もサッカーが好きになり、どんどん上達しています。興味のある人は一度見学にお越しください。(団長・仙田)



Profile プロフィール

- ①設立 平成21年
- ②年齢層 小学1年生～6年生
- ③活動日時 毎週日曜日9時～12時
毎月第2・4土曜日9時～12時
- ④活動場所 豊栄小わきグラウンド
- ⑤問い合わせ 生涯学習課スポーツ振興班 ☎73-0097

感謝状を受けた伊東さんと佐藤さん



心肺停止状態に陥った男性に対する救命措置を行い、命を救ったとして、救命活動を行った佐藤次男さん(飯高)と伊東三佳子さん(八日市場イ)の2人に3月13日、匝瑳市横芝光町消防組合から感謝状が贈られました。

1月20日、佐藤さんが地区の会合のために市内の飲食店を訪れた際、同席していた40歳代男性が体調を急変させ心肺停止状態に。佐藤さんは同店で働く伊東さんとともに、救急隊が到着するまでの約6分間、同じく同席していた消防署職員と連携し、気道の確保や心臓マッサージなどを続け、男性の命を救いました。感謝状を受け取った2人は当手を振り返り、「呼吸もなく、顔色も青かった。とにかく助かってよかった」と喜びを語りました。

心臓マッサージで人命救助 救命措置を行った2人に消防感謝状

青年海外協力隊として、パラグアイ共和国へ派遣が決まった林真己さん(東小笹出身)が3月18日、派遣前自治体訪問のため市役所を訪問し、活動の抱負などを語りました。林さんは、6年ほど前に4か月間で15か国を旅した際、インドで出会った現地の男性から出身村への学校創設活動をしている話を聞き感銘。「自分も看護師としての経験を役立てたい」と勤務していた病院を辞め、協力隊を志望。現地では、保健ポスト(日本での保健所)に所属して住民の健康意識の向上などの活動に従事する予定で、「一緒に行く仲間がいるので心強い。頑張りすぎず、明るく楽しくいきたい」と笑顔で話しました。

太田市長と握手を交わす林さん(左)



青年海外協力隊としてパラグアイへ 看護師の経験を途上国の人のために